

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-294895

(43)公開日 平成9年(1997)11月18日

(51)Int.Cl. ^o	識別記号	序内整理番号	F I	技術表示箇所
D 0 6 F 57/00	3 2 0		D 0 6 F 57/00	3 2 0
55/00			55/00	L
55/02			55/02	

審査請求 未請求 請求項の数4 OL (全5頁)

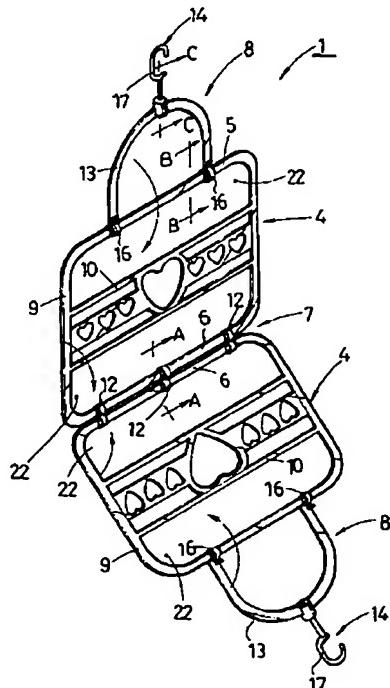
(21)出願番号	特願平8-113571	(71)出願人	596047414 ヤマサキ成形株式会社 和歌山県海南市且来492番地の3
(22)出願日	平成8年(1996)5月8日	(72)発明者	山▲崎▼ 貞三 和歌山県海南市且来492番地の3 ヤマサ キ成形株式会社内
		(72)発明者	大前 勝 京都府亀岡市篠町淨法寺土取9-1バスト ラルコート202
		(74)代理人	弁理士 杉本 勝徳 (外1名)

(54)【発明の名称】 枕乾燥具

(57)【要約】

【課題】手間をかけることなく、簡単な構造で枕を乾燥できる枕乾燥具を提供できるようにすることを目的とするものである。

【解決手段】枕の両側部に当接して枕を保持する枕保持部と、該枕保持部の一端同士を連結若しくは連続させてなる底部と、枕保持部の少なくとも一方の他端部に枕乾燥具を吊持する吊持部を形成したものである。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】枕の両側部に当接して枕を保持する枕保持部と、該枕保持部の一端同士を連結若しくは連続させてなる底部と、枕保持部の少なくとも一方の他端部に枕乾燥具を吊持する吊持部を形成したことを特徴とする枕乾燥具。

【請求項2】枕保持部が通気性を有するシート状部材で形成したことを特徴とする請求項1に記載の枕乾燥具。

【請求項3】枕保持部と、底部と、吊持部とを可撓性部材で一体に形成したことを特徴とする請求項1または請求項2に記載の枕乾燥具。

【請求項4】少なくとも枕保持部を光透過性部材で形成してなる請求項1乃至請求項3のいずれか1項に記載の枕乾燥具。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は枕を乾燥させる枕乾燥具に関するものである。

【0002】

【従来の技術】枕には古来の蕎麦殻を布袋に入れたり、合成樹脂パイプを短寸に切断したものや、羽毛をネットに入れ、この布袋やネットを枕カバーで覆って形成されており、こうした枕はその枕カバーを頻繁に洗濯して清潔に保つようにしている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】ところが、枕はその枕カバーを通して布袋やネットに入れた蕎麦殻や羽毛、短寸に切断された合成樹脂パイプに涎や汗等の湿気や汚れが付着してしまう。そこで、枕を清潔のために、枕カバーを頻繁に洗濯しても、蕎麦殻や羽毛、短寸に切断された合成樹脂パイプに染みついた湿気や汚れは容易に落ちず、臭いが発生したり、雑菌の温床にも成ってしまうという問題があった。

【0004】本発明は上記問題点に鑑み提案されたもので、手間をかけることなく、簡単な構造で枕を乾燥できる枕乾燥具を提供できるようにすることを目的とするものである。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために本発明にかかる枕乾燥具は、先ず、枕の両側部に当接して枕を保持する枕保持部と、該枕保持部の一端同士を連結若しくは連続させてなる底部と、枕保持部の少なくとも一方の他端部に枕乾燥具を吊持する吊持部を形成したことを特徴とするものである。

【0006】次に、枕保持部が通気性を有するシート状部材で形成したり、枕保持部と、底部と、吊持部とを可撓性部材で一体に形成することや、少なくとも枕保持部を光透過性部材で形成するようにしたことも特徴の1つである。

【0007】

2

【発明の効果】本発明は以上に説明したように、枕保持部に枕を保持させ、吊持部を例えれば日当たりのよい場所に設置された物干し竿等に吊持させると、枕を内部まで十分に乾燥させるとともに、日光（主として紫外線）による消毒を合わせて行なうことができる。

【0008】これにより、雑菌や湿気による異臭等の発生なくして枕を常時衛生的で快適な状態に保つことができるという利点がある。

【0009】また、枕保持部が通気性を有するシート状部材で形成したものでは、枕のなかまで短時間のうちに十分に乾燥させることができるという利点がある。

【0010】更に、枕保持部と、底部と、吊持部とを可撓性部材で一体に形成するようにしたものでは、たとえば合成樹脂で一体成形することができ、大量生産によるイニシャルコストを大幅に低減することができるという利点もある。

【0011】加えて、少なくとも枕保持部を光透過性部材で形成するようにしたのもでは、乾燥時の日光（主として紫外線）が枕の中まで十分に透過し、枕の消毒効率を大幅に向上させることができるという利点もある。

【0012】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を図面に基づいて説明する。図1は本発明に係る枕乾燥具、図2は枕乾燥具の使用状態の斜視図であって、図中符号1は、枕乾燥具を全体的に示す。この枕乾燥具1は、枕2の両側部3・3に当接して枕2を保持する枕保持部4・4と、この枕保持部4・4の下端部6・6同士を連結させて形成された底部7と、枕保持部4・4の上端の横桿5部分に形成された吊持部8・8とを備えてなる。

【0013】上記枕保持部4・7の夫々は、可撓性の合成樹脂材料で略四角な枠9に形成し、各枠9・9にはその中間高さ位置にハート模様のデザインを施した横桿10・10を一体に形成してある。そして、この各枠9・9の下端部6・6に上記底部7が形成される。この枕乾燥具1の底部7は、図3に示すように、各枠9・9の下端部6・6の一部を断面が略円形に形成し、この円形部分11・11同士に亘って眼鏡型をした合成樹脂製連結具12を嵌合させて形成しており、この合成樹脂製連結具12の部分が谷折れして枕保持部の二つの枠9・9が重なり合うように揺動可能になっている。

【0014】また、枕保持部4の上端部に形成される吊持部8は、図4に示すように、枕保持部4の上端の横桿5部分の中寄り部に形成されたアーチ状の支持部13と、このアーチ状の支持部13の上端部に回動可能に設けられたフック14とからなり、アーチ状の支持部13は、枕保持部4の上端の横桿5の中寄り部分に断面が略円形の支持受け部15を形成するとともに、アーチ状の支持部13の下端部を支持受け部15に嵌合する嵌合部16が曲成されている。

【0015】この嵌合部16を回動中心としてフック1

3

4とアーチ状の支持部13とが相対的に回動可能になっている。

【0016】そして、アーチ状の支持部13の上端部に回動可能に設けられるフック14は、上半部を下側に構成したフック具17と、図5に示すように下端部に半球状の抜止め部18を設けた回動板支部19とからなり、この回動板支部19がアーチ状の支持部8の頂部に形成された嵌合孔20に抜止め状に嵌合されてフック具14が装着されている。

【0017】上記のように構成された枕乾燥具1を使用する場合を次に説明する。先ず、枕乾燥具1の底部7の合成樹脂製連結具12部分を回動中心として二つの枠9・9を図1に示すように開く。次に、枕2を両枠9・9の中間部分に位置させた後、二つの枠9・9を合成樹脂製連結具12部分で谷折れにし、両枠9・9間に図2に示すように枕2を挟持させる。この状態でフック17を日の良く当たる風通しの良い場所に設置された物干し竿21に吊持させるのである。

【0018】こうして枕乾燥具1で物干し竿21に吊持された枕2は、風と日光を受け、風と日光は枠内の空間部分22からその内部を透過し、枕2を十分に乾燥するとともに、日光中の主として紫外線による消毒とが合わせて行なわれるのである。これにより、雑菌や湿気による異臭等の発生なくし、枕2を常時快適な状態に保つことができるるのである。

【0019】また、枕乾燥具1を収納する場合は、図1中矢印Aで示すように、アーチ状の支持部13をその下端部を回動中心として内方に折り畳み、更に底部7の合成樹脂製連結具12で谷折れにして枠9・9を折り畳むと、枕乾燥具1は略1つの枠9の大きさに折り畳むことができ、収納に至便なものにできる。

【0020】尚、図6乃至図10は夫々枕乾燥具1の変形例を示すものであって、図6に示すものは、枕保持部4を透明なシート状部材(平板)で形成するとともに、

4

アーチ状の支持部13に物干し竿21を貫通させてフック14を兼用し、フック具17を省略するようにしたもので、その他の作用は上述したのと同様になっている。

【0021】図7に示すものは、上記図6の平板で形成された枕保持部4に通気性を持たせるために通気孔23を穿設したものである。また、図8のものは、例えばポリプロピレン等の可撓性を有する合成樹脂で枕保持部4をその底部7で連続する一体成形してなるもので、底部7の肉厚を薄くして所謂“PPヒンジ”24に形成するとともに、枕保持部4の枠内方は、ネット25にして通気性をも確保できるようにしたものである。

【0022】図9に示す枕乾燥具1は、両端部に嵌合輪26・26を有する紐乃至はワイヤロープ等の索条27で枕保持部4を形成したもので、図10に示す枕乾燥具1は、図9の枕乾燥具1の嵌合輪26・26に代えて当該部分に挟持用クリップ28・28を設け、この挟持用クリップ28・28で枕保持部4を形成するようにしたものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】は枕乾燥具を開いた状態の斜視図である。

【図2】は枕乾燥具の使用状態の斜視図である。

【図3】は図1のA-A線断面図である。

【図4】は図1のB-B線断面図である。

【図5】は図1のC-C線断面図である。

【図6】は枕乾燥具の変形例を示す斜視図である。

【図7】は枕乾燥具の変形例を示す斜視図である。

【図8】は枕乾燥具の変形例を示す斜視図である。

【図9】は枕乾燥具の変形例を示す斜視図である。

【図10】は枕乾燥具の変形例を示す斜視図である。

【符号の説明】

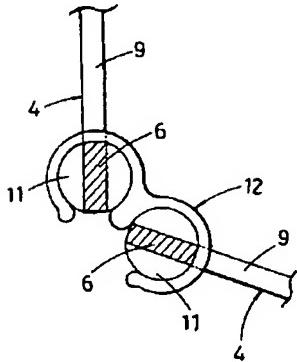
2 … 枕

4 … 枕保持部(シート状部材)

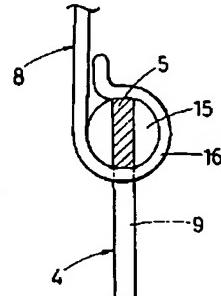
7 … 底部

8 … 吊持部

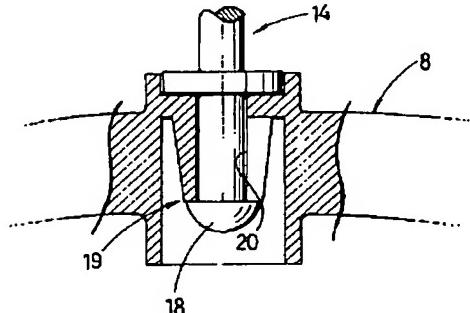
【図3】



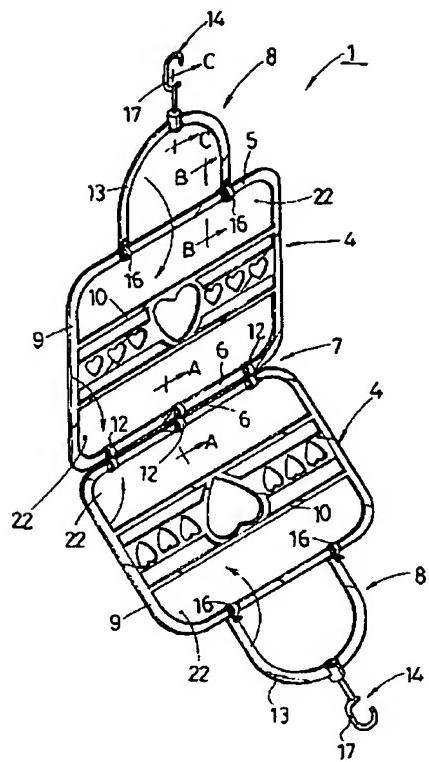
【図4】



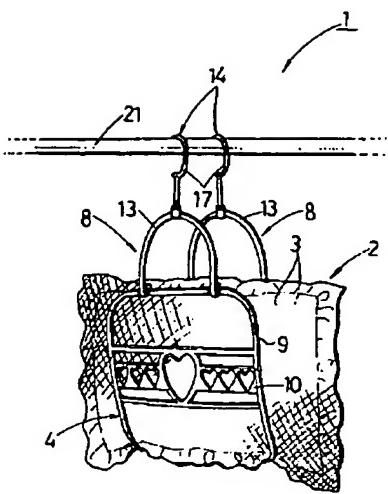
【図5】



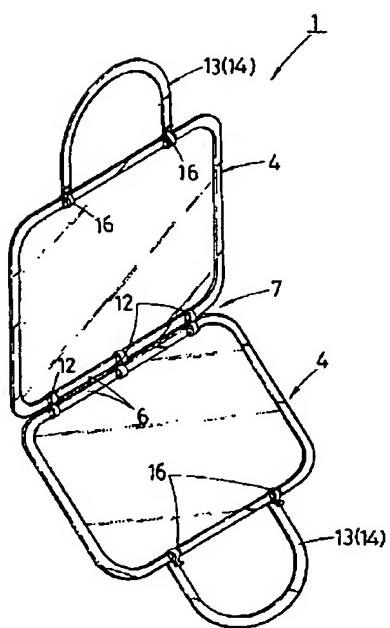
【図1】



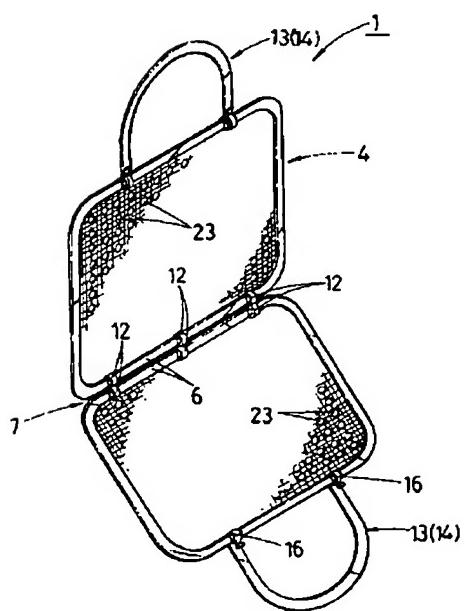
【図2】



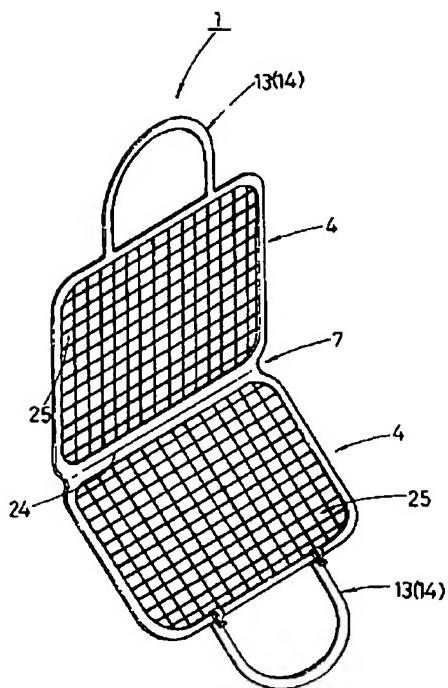
【図6】



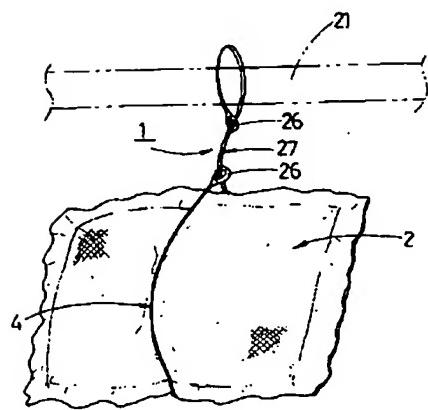
【図7】



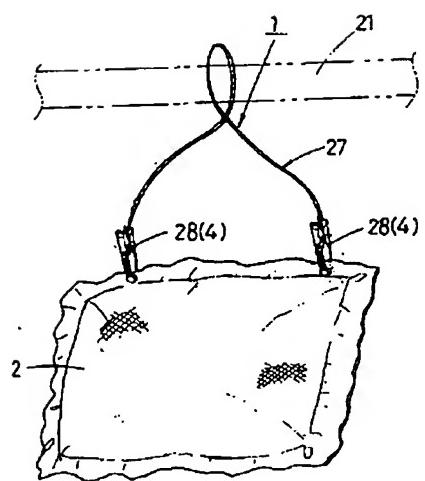
【図8】



【図9】



【図10】



PAT-NO: JP409294895A
DOCUMENT- IDENTIFIER: JP 09294895 A
TITLE: PILLOW DRIER
PUBN-DATE: November 18, 1997

INVENTOR- INFORMATION:

NAME
YAMAZAKI, TEIZO
OMAE, MASARU

ASSIGNEE- INFORMATION:

NAME	COUNTRY
YAMASAKI SEIKEI KK	N/A

APPL-NO: JP08113571

APPL-DATE: May 8, 1996

INT-CL (IPC): D06F057/00, D06F055/00 , D06F055/02

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To dry a pillow with a simple structure without requiring much labor by connecting or continuing one-end sections of pillow hold sections kept in contact with both side sections to hold the pillow together as a bottom section, and forming hang sections hanging a pillow drier at the other end sections of the pillow hold sections.

SOLUTION: The lower end sections 6 of pillow hold sections 4 kept in contact with both side sections of a pillow to hold the pillow are connected to form a bottom section 7, and hang sections 8 are formed on horizontal bars 5 at the

upper ends of the pillow hold sections 4 in this pillow drier 1. The pillow hold sections 4 are formed into substantially rectangular frames 9 with a flexible synthetic resin material, horizontal bars 10 applied with heart pattern designs are integrally formed at the intermediate height position of the frames 9, and a the bottom section 7 is formed at the lower end sections of the frames 9. Two frames 9 are opened centering on the portions of synthetic resin connecting tools 12, the pillow is located at the intermediate portion of the frames 9, the frames 9 are folded at the portions of the synthetic resin connecting tools 12, the pillow is pinched between the frames 9, and hooks 17 are hung on a wash-line pole or the like.

COPYRIGHT: (C)1997,JPO